



萌木 7月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和3年7月9日発行

当たり前のこと

校長 山田 勝

1年ぶりの本格的な夏休みが、始まります。しかし、夏休みでも新型コロナウイルス感染対策を最優先に考えなければならぬことは、1学期と変わりません。今までの夏休みとは、明らかに違う生活を過ごさなければなりません。

37日間の夏休み。一人一人に、公平に同じ時間があります。その時間をどう使うのか、決めるのは自分自身です。自分自身の成長のために夏休みをどう過ごすかしっかり考えてほしいと思います。

1学期は新型コロナウイルスと共にある生活が続く中でしたが、体育祭も規模を縮小し保護者の皆様の観戦もご遠慮頂く中でしたが、実施することができました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間で、活動に制限がかかりながらやれることに取り組む日々でした。一つ一つの活動をどのようにつなげるのかなど、中々見通しがもてない状況での活動でした。そのような中でも、今やっている活動に自信を持って取り組んでほしいと考え、6月の朝礼では次のような話をしました。

体育祭や期末考査では、皆さんはどのような目標を立てて、取り組みましたか。また、その目標は達成できましたか。まだ振り返っていない人は、ぜひ振り返りをしてみましょう。達成できたか、できなかったか、だけでなく、どうしてできたのか、できなかったのか、何が足りなかったのか。もし戻れるなら、どうすればよかったのかを考えてみましょう。

そのように考えることが、きっと皆さんのこれからに役立つはずです。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ている、緊急事態といわれる状態が日常であることが、この1学期でした。私たちはどうしたらいいのでしょうか。

およそひと月前のことです。学校から帰る途中、ちょうど八雲台小の交差点で信号待ちをしていた時のことです。神戸屋側で七中生も一人信号待ちをしていました。青に変わり渡ろうとしたとき、調布方面から救急車の音が聞こえてきました。そのとき、信号待ちをしていた何人かの先頭で一步を踏み出していた七中生が後ろに戻ったのです。それにつられたかのように他の人も救急車に道を譲っていました。これくらいなら先に渡れるかなと行動するのではなく、救急車の通行を優先する、当たり前の取り組みをみて、とても頼もしいなと思いました。

緊急事態である現在、マスクやソーシャルディスタンスなど、これくらいいいかな、ではなく当たり前のことを当たり前に取り組むことが私たちにできることなのではないでしょうか。皆さんはどう考えますか。

残りひと月となった1学期。はっきりとした見通しが持ちづらい中ですが、今までを振り返り、そして、このひと月をどう生活していくのか目標を持ち、当たり前のことにしっかり取り組む、そのようなことができる七中生であってほしいと思います。

夏休みが、やがて始まります。校訓「自尊・立志・感動」に基づいた目標を立て生活をする中で、夏休みを自分自身にとって有意義なものにしてほしいと思います。

○「自尊」【自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒】

一人一人はかけがえのない存在です。「自分を大切にし、他の人を大切にする」ことを意識して生活することで、感染対策やSNS等のトラブルを起こさない等、当たり前のことにしっかり取り組んでほしいと思います。

また、家族の一員として、家族のために自分の出来る事を見付け、積極的に行なうことで、改めて「自分の大切さ」や「思いやり」を学べると思います。

○「立志」【夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒】

・自分の興味・関心のあることについて、さらに学習を深めてほしいと思います。休み中の自発的な学習は、自分を高め、自信につながります。

○「感動」【心と体を鍛え、感動を生む生徒】について

・感染症対策・熱中症対策をしっかり行い、体を鍛えるとともに、心を鍛えることで、真に強い自分になってほしいと思います。

3年生保護者の皆様

先日は修学旅行説明会に多数のご参加をいただきありがとうございました。説明会でもお話ししましたが、現時点で実施に向け、できる準備に取り組んでいるところです。ただ、今後の感染状況により中止や延期等の対応になる可能性もあります。その際は長期休業中でも安全安心メールでお知らせしますので、よろしくお願ひします。

おもしろ実験講座を行いました。

6月28日(月)に地域学校協働本部主催のおもしろ実験講座を行いました。今回の第1回は、様々な野菜や果物となりました。金属板を使って電池が作れるかという実験でした。20名ほどの生徒の参加者は、レモンやグレープフルーツ、メロンやスイカ、ジャガイモを使い、グループで協力しながら実験を行いました。電流計で計測すると電流が流れていて、簡易な音楽機器を繋ぐと、確かに音楽が流れていました。みんな楽しそうに実験を行っていました。すりおろした野菜や果物合わせると大きな電流が流れ驚いていました。第2回目も楽しみです。



道徳授業公開講座を行いました。

7月7日(水)に道徳授業地区公開講座(今年度は地域公開はなし)を行いました。5時間目に全学年全クラスで道徳授業を行い、調布市教育委員会指導主事の小宮山指導主事を講師に迎えて協議会を行いました。

今年のテーマは「子どもが意見を出しやすくなる授業実践の工夫」とし、各学年で指導案を練り、検討を重ねてきました。

1年生は、「信念をつらぬいて生きる～背番号15が歩んだ道」を単元とし、プロ野球選手として活躍した黒田投手の決断を通して、自分の進みたい道に向かって、よりよく生きようとする意欲と態度を養いました。

2年生は「秀さんの心」を単元とし、職場体験で、職人の礼儀にふれた二人の生徒の物語を通して、礼儀の意味について考えさせ、心のこもった適切な言動を取ろうとする実践意欲と態度を育てました。

3年生は「先人の言葉－『論語』」を単元として、先人の生き方と出会う中で、自己との対話を高める深めることにより、他者との理想的なかかわり方やより望ましい自分自身になることに思いを馳せ、自分自身が納得できるような意味ある人生を生きようとする心情を育てました。



校内研修会を行いました。

6月24日(木)に國學院大學教授の田村学先生を講師に迎え、校内研修会を行いました。今回は研究授業として、増田教諭による技術の授業を行い、協議会を行いました。今年度の研究テーマは「学びに向かう力を高め、教科の目標を達成するための工夫～PDCA サイクルを活用した授業改善」として研究を進めています。授業の単元は「材料と加工に関する技術(デスク台の製作)」で、1年5組の生徒に授業を行いました。生徒は、思い思いに「さしがね」を使い、木材にけがきを行っていました。どういった方法だと正確なけがきができるかを考えながらお互いに意見を出しながら協力して作業をしていました。調布市教育委員会の高橋指導主事、第五中学校の小坂校長先生も参加していただき、有意義な研修会となりました。



2学期より、本校の給食調理校が柏野小学校の給食室改修工事に合わせ、深大寺小学校に変更になります。柏野小学校から本校へ給食を提供して下さった皆様、お世話になりました、ありがとうございました。深大寺小学校から給食を提供して下さる皆様、これからお世話になります、よろしくお願ひします。